

# 環境経営レポート

対象期間 2023年6月1日～2024年5月31日 (令和5年度)



作成日：2024年 7月 1日



石福建設株式会社

## 目 次

### ・計画の策定（P l a n）

- |   |        |       |
|---|--------|-------|
| 1 | 組織の概要  | P 1   |
| 2 | 実施体制   | P 2   |
| 3 | 環境経営方針 | P 3   |
| 4 | 環境経営目標 | P 4   |
| 5 | 環境経営計画 | P 5～7 |

### ・計画の実施（D o）

- |   |                               |       |
|---|-------------------------------|-------|
| 6 | 環境経営目標の実績とその評価、<br>次年度の環境経営目標 | P 8～9 |
|---|-------------------------------|-------|

### ・取組状況の確認及び評価（C h e c k）

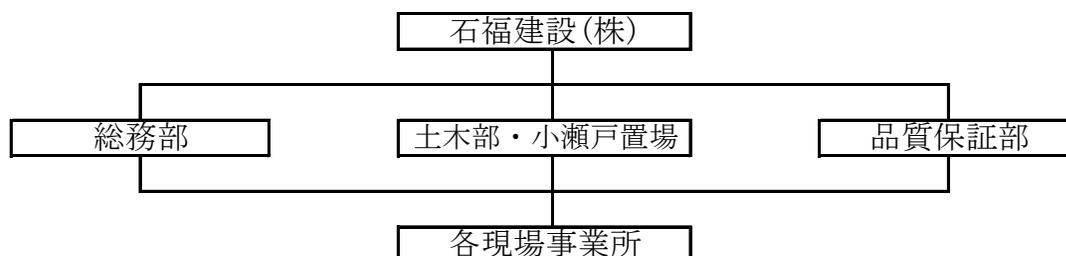
- |    |   |      |
|----|---|------|
| 7  | 環境経営計画に基づき実施した取組内容<br>・取組結果とその評価、次年度の取組内容 | P 10 |
| 8  | 自社の取組み（経営資源の投入）                           | P 11 |
| 9  | 環境コミュニケーション（地域との融合）                       | P 12 |
| 10 | 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果<br>並びに違反・訴訟などの有無    | P 13 |

### ・全体の評価と見直し（A c t）

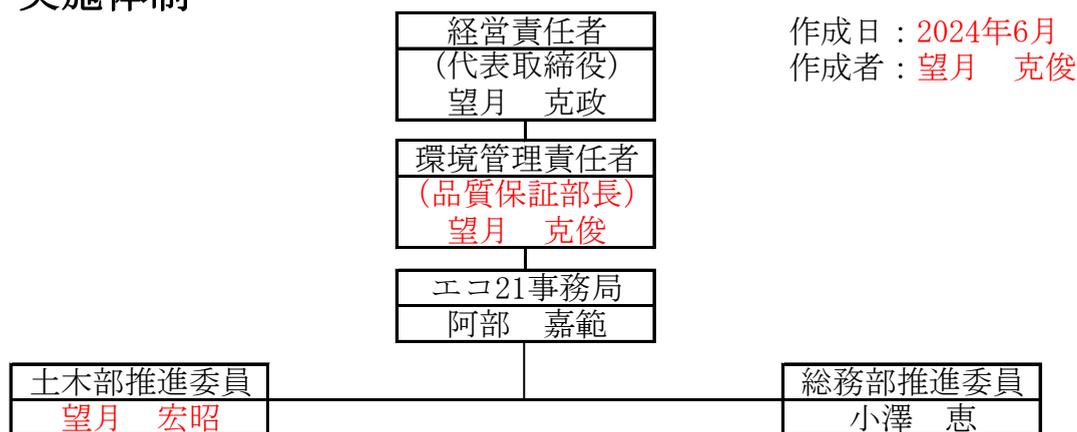
- |    |                    |      |
|----|--------------------|------|
| 11 | 代表者による全体の評価と見直し・指示 | P 14 |
|----|--------------------|------|

# 1 組織の概要

- ① 事業者名 石福建設株式会社
- ② 代表者氏名 代表取締役 望月 克政
- ③ 所在地（本社） 〒421-1213 静岡県静岡市葵区山崎1丁目35番地の1  
小瀬戸資材置場 静岡県静岡市葵区小瀬戸1066-5
- ④ 事業活動 総合建設業
- ⑤ 環境管理責任者  
担当者 **品質保証部長 望月 克俊**  
管理部 阿部 嘉範
- ⑥ 連絡先  
T E L 054-278-6611  
F A X 054-278-5624  
E-mail:ishifuku@quartz.ocn.ne.jp
- ⑦ 建設業許可 総合建設業 静岡県知事許可（特-4）第 2501 号  
2016.2月：静岡市CSRパートナー企業認定
- ⑧ 事業の規模  
設立 1962年  
完成工事高(R5) **22.7億円**  
従業員 **43名**  
本社床面積：603m<sup>2</sup> 小瀬戸置場：1932m<sup>2</sup>
- ⑨ 保有車両  
三菱社製油圧ショベル バケット容量0.06m<sup>3</sup> 1台  
（排出ガス対策型・低騒音型建設機械）  
C A T社製ミニ油圧ショベル バケット容量0.09m<sup>3</sup> 1台  
（排出ガス対策型・超低騒音型建設機械）  
キャタピラー社製クレーン機能付油圧ショベル バケット容量0.16m<sup>3</sup> 1台  
（排出ガス対策型・低騒音型建設機械）  
2tダンプ・3tダンプ・6tダンプ 各1台
- ⑩ 事業年度 6月1日～翌年5月31日
- ⑪ レポートの対象期間及び発行日  
環境経営レポート対象期間（2023年6月1日～2024年5月31日）  
環境経営レポート発行日（2024年7月）
- ⑫ 認証・登録の対象範囲  
活動：土木一式、とび土工、舗装  
対象組織：本社（総務部・土木部・品質保証部）、小瀬戸資材置場、各施工現場



## 2 実施体制



### 《環境管理組織における機能》

- ・ 経営責任者
  - ①経営における課題とチャンス进行明確化し、自社の特性を生かした環境経営方針・目標に反映し、全社員へ周知し遂行する。
  - ②マネジメントレビューを実施する。
  - ③環境管理責任者を任命する。
  - ④システム運用に伴う資機材の提供を行う。
- ・ 環境管理責任者
  - ①要求事項に対応したシステム(環境経営活動)を確立し推進する。
  - ②各部署の環境経営目標及び環境経営計画を作成する。
  - ③年2回(6月・1月)環境経営推進会議を実施する。
  - ④システムの実施状況の評価を経営責任者へ報告し、経営責任者からの要求を実施し統括する。
  - ⑤システム運用に有効な社内、社外の情報を統括する。
- ・ エコ21事務局
  - ①各部門から提出されるデータの集計と、活動計画の実績管理。
  - ②環境負荷・環境への取組みの自己チェックの実施。
  - ③環境管理責任者の補佐
  - ④環境関連法規等の最新情報の入手と、社員への伝達。
  - ⑤環境活動レポートの作成と管理。
- ・ 土木部推進委員
  - ①毎月末の部会議にて、環境経営計画の実施報告と、各現場にてトラブルが生じた場合の、内容・是正状況を報告する。
  - ②環境経営推進会議への出席。
  - ③各現場にて代理人が行う、協力会社への教育訓練のサポート。
  - ④情報共有システム・遠隔臨場・G T L燃料の活用推奨(観察中)
- ・ 総務部推進委員
  - ①毎月末の部会議にて、環境経営計画の実施報告と、社外からのクレーム対応の報告。
  - ②環境経営推進会議への出席。
  - ③活動事務局が行う各データの集計補佐。
  - ④社内におけるグリーン購入法に基づく諸資材の調達推奨。

### 3 環境経営方針

#### 《企業理念》

私たちには、次世代を担う子孫に住み良い地球環境を提供する社会的責任（CSR）がある。そのために今何ができるか検討し、効果的な環境保全活動を行いながら「正確なものを創る」ことである。

#### 《環境方針》

- 1 当社が認証取得しているIS09001に則り、「使い捨てのない土木」を基本に、循環型社会形成である**3R**、**Reduce**（発生抑制）・**Reuse**（再利用）・**Recycle**（再生利用）を積極的に推進し、環境負荷の削減・改善を図るため、下記の重点項目に取組み、定期的な見直しを行う。
  - ①二酸化炭素・産業廃棄物排出量及び紙・水使用量の削減に努める。
  - ②発注者に対しては、常に環境に配慮した施工の提案を行う。
  - ③建設リサイクル法による建設副産物（産業廃棄物）の3Rに取り組む。
- 2 環境に配慮した目標を設定し、環境経営目標の達成状況及び活動計画の実施状況を定期的に確認・評価し、環境経営のシステムを継続的に見直す。
- 3 常に最新の環境関連法規等を入手し、法規制及び協定の遵守を行う。
- 4 社外には環境経営レポートを公開したり、地域社会と連携した環境保全活動を行い、地域と環境保全のコミュニケーションを図って行く。
- 5 海洋プラスチックごみ問題に対して、今何ができるか。それは全社員・協力会社の家族も含め、マイバック・マイボトルの携帯による廃プラ根絶を行う。
- 6 環境破壊による温暖化で、季節外れの台風上陸や、線状降水帯による局地的な豪雨災害が発生している。そのような緊急事態でも対応できる体制を常設する。

全社員が環境経営方針を理解し、周知徹底するための必要な教育・訓練を計画的に行い、環境に優しい施工を行う。

制定日 平成19年 6月 1日  
改定日 令和 5年 6月 1日

石 福 建 設 株 式 会 社

代表取締役 望月 克政

## 4 環境経営目標

令和5年度は完成工事高20億円を単期目標としました。  
平成27年6月から令和5年5月末までの8年間で、蓄積した各環境項目のデータを基に売上に対する各項目の基準値を設定し、中間目標とします。  
中期目標の運用期間は令和5年度～令和7年度の3年間とする。

項目	単位	完成工事高 20億の基準値 全体	環境経営中期目標		
			全体		
			本社(小瀬戸含む)	現場	
二酸化炭素排出量	kg-CO <sub>2</sub>	251,393.05			注1
			35,195.03	216,198.02	
電力使用量	kWh	86,751.00	52,050.60	34,700.40	
ガソリン使用量	L	39,128.00	4,304.08	34,823.92	
軽油使用量	L	44,883.68 現場のみ	現場のみ		
灯油使用量	L	1,115.40	189.62	925.78	
コピー用紙使用量	枚	161,717 全体	全体		
水使用量	m <sup>3</sup>	449.00 本社・小瀬戸含む	本社・小瀬戸含む		
一般廃棄物排出量 (焼却処分)	kg	実績把握	実績把握		注2
産業廃棄物排出量	kg	実績把握	実績把握		〃
建設副産物リサイクル率向上	%	95.0	95.0		
GTL燃料の使用率	%	観察中	観察中		注3

注1. 「購入電力」の二酸化炭素排出係数は、  
中部電力(平成29年度実績)の調整後排出係数「0.472kg-CO<sub>2</sub>/Kwh」を使用。

注2. 一般・産業廃棄物排出量については、受注工事量と工事設計内容によって数量が年ごとに変動してしまう為、目標数値を設定せず排出量実績を記載する。

注3. 静岡市でもGTL燃料が販売された。軽油使用の自社の重機だけでなく、協力会社の重機等にも使用してもらうよう協力を呼び掛ける。 **現在観察中です**  
GTL燃料の特徴: CO<sub>2</sub>排出量が軽油使用時と比べて8.5%削減できる

毎年6月末までに経営者の見直しを基に土木・総務の部内目標を部会議にて決め本社・各現場事務所に掲示し、目標達成に向けた意識の高揚を図ります。

令和5年度環境経営目標は、土木・総務部共通で

『 時間外労働の抑制 』 です。

2024年4月より建設業にも適用される「時間外労働の上限規制」を鑑み自社においても先取りして現場施工を4週8休体制にする必要があります。各現場では効率化施工を重視し、休日計画も工程に反映させて下さい。

## 5 環境経営計画

すべての活動は、CSRの精神に則り積極的に取り組む。

### ・温室効果ガス(二酸化炭素)排出量削減

活動内容	担当部署	具体的方法
① エアコン温度設定(冷房28度・暖房22度)	本社・現場	温度計の設置・安パトにて確認
② 照明スイッチへの管理者設定	本社・現場	クールビズ・ウォームビズでの対応
③ OA機器の未使用時電源OFF	本社・現場	ひもによるON・OFF、安パトにて確認
④ 有給休暇・プレミアムサタデーの活用	本社・現場	夜間・休日は主電源を切る
⑤ 発注者へ環境に配慮した提案	本社・現場	総務部より推奨
⑥ 協力会社への教育・訓練	本社・現場	情報共有・リモートによる遠隔臨場
		工事契約・建退共・情報共有の電子化
		弁当を購入する人は給食へ切替

### ・社用車、重機関係

活動内容	担当部署	具体的方法
① アイドリングストップ、エコドライブ	本社・現場	社用車へのステッカー貼り付け
② 給油時の燃費確認・空気圧点検	本社・現場	毎月末の事務局への申告
③ 不要な荷物を積まない	本社・現場	安パトにて確認
④ 排ガス対応・低燃費車の導入	本社	リース契約更新時に検討
⑤ 省エネ(ハイブリット)重機の選定	現場	ICT搭載型BH保有している協力業者の選定
⑥ GTL燃料の積極的な使用	現場	現在観察中
⑦ 毎朝のアルコールチェック	本社・現場	アルコール検知器による確認・記録

### ・総排水量削減

活動内容	担当部署	具体的方法
① 節水の呼びかけと節水器具の導入	本社・現場	薬剤消毒、蛇口への表示、散水は川の水使用
② 水質汚濁の抑止	本社・現場	環境配慮型洗剤の使用、ノッチタンクの設置
		オイルフェンスの活用

### ・社会貢献

活動内容	担当部署	具体的方法
① 河川美化・流木処理	本社・現場	建設業協会員として参加
② 鳥獣被害対策	現場	各自治会会長と連帯
③ 服織こども園児の避難訓練	本社	津波・洪水に対し本社3階まで避難誘導
④ インターンシップ受け入れ	現場	小・中・高校生の現場実習で環境教育
⑤ 感染しない生活様式へ変換	本社・現場	免疫力強化・常備薬・シールド付ヘルメット

### ・廃棄物等排出量削減

活動内容	担当部署	具体的方法
① マイハンカチ・タオルの携帯	本社・現場	消毒用スプレー・ティッシュ常設
② 昼食時の割り箸禁止	本社・現場	「マイ箸運動」の推進
③ マイバック携帯、食品ロス削減	全社員(家族含む)	レジ袋の拒否(廃プラ抑制)、賞味期限の確認
④ 使い捨て製品の購入抑制	本社・現場	リターナブル容器や詰め替え対応型購入
⑤ グリーン商品購入(環境ラベル認定)	本社・現場	カタログ類の収集・明示
⑥ 紙使用量の削減	本社・現場	両面印刷・印刷前のプレビュー確認
⑦ 社内資料の裏白紙使用	本社・現場	将来的に社内LANの導入
⑧ ゴミの分別収集	本社・現場	推進委員、現場は安パトにて確認
⑨ 新聞紙、段ボールのリサイクル	本社・現場	自治会の廃品回収に協力
⑩ 一般可燃物の排出量把握	本社・現場	業者回収時に重量測定
⑪ マニフェストによる管理	現場	電子マニフェスト導入、最終搬出先確認義務
⑫ 資材納入業者の梱包材回収	現場	注文書に記載
⑬ 産廃BOXの撤廃	現場	設置する場合は、社長の許可が必要

※ 基本的には現場のゴミは会社より持参した袋に入れられる可燃物だけとする。

### 5 環境経営計画（本社）

（取組期間：R5年6月～R6年5月）

活動計画	施策	担当部署	担当	年間スケジュール												備考（具体的方法）
				R5 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月	
・温室効果ガス 排出量削減	①直接電力	総務部														
	イ. 冷房温度管理		1F 増田. 小澤													温度計の設置
			2F 阿部													クールビズ対応
	ロ. 暖房温度管理	総務部	1F 増田. 小澤	効果確認												温度計の設置
																ウォームビズ対応
	②間接電力（照明）	総務部														ひもによるON・OFF
	イ. 消灯. 減灯対策		1F 増田. 小澤							毎月実施状況確認						管理者シールを貼る
			2F 阿部							毎月実施状況確認						〃
	③間接電力（OA機器）	総務部														
	イ. OA機器省エネ対策		全社員							毎月実施状況確認						昼休み・夜間・休日のOFF
・社用車関係																
	①アイドリングストップ	役員. 総務部	全社員							毎月実施状況確認						車内へのステッカーの貼付け
	②燃費、空気圧確認	役員. 総務部	各車輛担当	効果確認						毎月実施状況確認						毎月末に申告
	③不用な荷物の積載禁止	役員. 総務部	全社員							毎月実施状況確認						安パトにて確認
	⑦アルコールチェック	役員. 総務部	全社員							毎月実施状況確認						毎朝検知器による確認記録
・総排水量削減																
	①節水器具の導入	総務部	小澤							毎月実施状況確認						消毒洗浄、蛇口への表示 環境配慮型洗剤使用
・廃棄物等 排出量削減																
	②昼食時の割り箸	総務部	小澤							毎月実施状況確認						「マイ箸運動」
	④使い捨て製品抑制	総務部	小澤							毎月実施状況確認						ビン容器・詰め替え対応
	⑤グリーン商品購入	総務部	阿部. 山本	効果確認						毎月実施状況確認						カタログ類の収集
	⑦裏紙の活用	役員. 総務部	全社員							毎月実施状況確認						社内書類において
	⑨新聞紙、段ボール	総務部	山本							毎月実施状況確認						自治会の廃品回収
	⑩一般可燃物排出量	総務部	小澤							毎月実施状況確認						回収時の重量測定
・社会貢献、 その他の活動																
	①環境社外活動	総務部	推進委員会	実施		実施				実施						6月河川美化 11月流木処理
	③園児の避難訓練	総務部	増田	実施							実施					本社3階まで誘導
	⑤感染しない生活様式	総務部	増田							毎月実施状況確認						免疫力強化・ディスタンス確保
	プレミアムサタデー実施	総務部	鈴木				9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/16	4/20	5/18	メールにて推進
	マイバックの携帯	総務部	小澤							毎月実施状況確認						レジ袋の受取り拒否
	食品ロスの削減広報	総務部	小澤			実施					実施					賞味期限の確認
	協力業者への教育・訓練	総務部	山本・小澤							毎月実施状況確認						工事契約・建退共の電子化
	安全大会にての防災訓練	役員・総務部	全社員、協力会社			実施		実施								7月安全大会 9月防災訓練
	内部監査・中間報告	総務部	推進委員会	実施								1/4中間報告				6月内部監査 1月中間報告

\*次年度も同じ内容とする

R5/10月 更新審査

### 5 環境経営計画（現場）

（取組期間：R5年6月～R6年5月）

活動計画	施策	担当部署	担当	年間スケジュール												備考（具体的方法）
				R5 6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	R6 1月	2月	3月	4月	5月	
・温室効果ガス 排出量削減	①直接電力	土木部														クールビズ対応
(小瀬戸置場含む)	イ. 冷房温度管理		各現場所長													温度計の設置、安パト確認
	ロ. 暖房灯油使用量	土木部	各現場所長	効果確認												温度計の設置、安パト確認 ウォームビズ対応
	②間接電力（照明）	土木部														
	イ. 消灯、減灯対策		各現場所長													毎月実施状況確認
	③間接電力（OA機器）	土木部														安パト確認
	イ. OA機器省エネ対策		全社員													毎月実施状況確認
	⑤発注者への環境提案	土木部	各現場所長													部会議にて状況確認
																昼休み・夜間・休日のOFF 情報共有システム・遠隔臨場
・社用車、重機関係																
	①アイドリングストップ	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	②燃費、空気圧確認	土木部	各車輛担当	効果確認												車内へのステッカーの貼付け
	③不用な荷物の積載禁止	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	⑤省エネ重機の選定	土木部	全社員													毎月実施状況確認
現在観察中	⑥GTL燃料の使用	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	⑦アルコールチェック	土木部	全社員													毎月実施状況確認
																月1回部会議にて申告
																安パト確認
																作業効率、協力会社の選定
																現場選定・協力会社へ活用
																毎朝検知器による確認記録
・総排水量削減																
(小瀬戸置場含む)	①水使用量の削減	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	②水質汚濁の抑止	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
																消毒洗浄、散水は河川使用
																ノッチタンク、オイルフェンス活用
・廃棄物等 排出量削減	②昼食時の割り箸	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	④使い捨て製品抑制	土木部	各現場所長	効果確認												毎月実施状況確認
	⑤グリーン商品購入	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	⑦裏紙の活用	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	⑧ゴミの分別	土木部	全社員													毎月実施状況確認
	⑪マニフェスト管理	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	⑫納入業者の梱包材	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	⑬産廃BOX撤廃	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
																「マイ箸運動」
																ビン容器、詰め替え対応
																総務提供のカタログ参照
																社内書類において
																安パト確認
																電子マ・最終搬出先確認
																注文書に「回収」記載
																社長の許可が必要
・社会貢献、 その他の活動	①環境社外活動	土木部	各現場所長	実施			実施			実施						鳥獣対策・近隣清掃
	④インターシップ受入	土木部	各現場所長				実施						実施			ICT活用による効率化
	⑤感染しない生活様式	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	プレミアムサタデー実施	土木部	全社員				9/16	10/21	11/18	12/16	1/20	2/17	3/16	4/20	5/18	気持ちのリフレッシュ
	協力業者への教育、訓練	土木部	各現場所長													毎月実施状況確認
	マイバックの携帯	土木部	全社員									実施				月1回協議会にて教育
	緊急事態への準備、訓練	土木部	全社員、協力会社													全社員から家族へ
	内部監査・中間報告	土木部	推進委員会	実施								1/4中間報告				7月安全大会 9月防災訓練 6月内部監査 1月中間報告

\*次年度も同じ内容とする

R5/10月 更新審査

## 6 環境経営目標の実績とその評価、次年度の環境経営目標

### 1) 運用期間(R5/6月～R6/5月)の環境目標の実績

項目	単位	期間目標値 22.7億に対する	期間実績値	評価 削減率(%)	内訳	
					本社	現場
二酸化炭素排出量	k g-CO <sub>2</sub>	285,331.11	279,054.00	○ -2%	30,555 11%	248,499 89%
電力使用量	k W h	98,462.86	98,026.00	○ -0.4%	52,540 (小瀬戸含む) 54%	45,486 46%
ガソリン使用量	L	44,410.26	40,491.45	○ -9%	2,481 6%	38,010 94%
軽油使用量	L	50,942.98	53,702.60	5%	現場のみ	
灯油使用量	L	1,265.93	118.00	○ -91%	0 0%	118 100%
コピー用紙使用量	枚	183,549	125,314	-32%	本社一括	
水使用量	m <sup>3</sup>	509.00	503.00	-1%	本社・小瀬戸含む	
一般廃棄物排出量(焼却処分)	k g	実績把握	572.58	○	本社一括	
産業廃棄物排出量	k g	実績把握	2,404,850.00	○	現場のみ	
建設副産物リサイクル率向上	%	95.0	99.7%	○	現場のみ	
太陽光発電量	K w h	実績把握	7,002.00	○	本社	
GTL燃料の使用率	%	70.00	0.00	△観察	現場のみ	

注:削減率は目標値に対する割合である。内訳の本社数量には小瀬戸資材置場を含みます。

### 2) 評価

#### ・二酸化炭素排出量 ○ -2%

本社○ 全ての項目が前年比ほぼ同値で安定している。電子契約・建退共等、新たな活動も影響しているが、環境経営計画が基本であり、計画通りに遂行されている。

小瀬戸○ 小瀬戸の排出量は8,207kg-co<sub>2</sub>で、全体の3%である。

現場○ 今期は遠隔地の現場や重機や水中ポンプの稼働が多く、二酸化炭素の排出量の増加が懸念されていたが大型機械や遠隔臨場、ICT施工、情報共有が定着し概ね計画範囲内で遂行されている。

#### ・電力使用量 ○ -0.4%

本社○ 今回も本社・小瀬戸分を合計していますが、小瀬戸使用量は17,388kwhでした。

小瀬戸○ 小瀬戸近隣での現場が増えたことで小瀬戸資材置場での作業が増え電気使用量が僅かに増加しているが計画範囲内である。

現場○ 今期は夜勤での照明・河川での水中ポンプの稼働が多かったが、省エネタイプの使用等工夫を行い、計画範囲内で収めることができた。

#### ・ガソリン使用量 ○ -9%

本社○ 前年比14%減少している。電子契約やリモートでの打合せ・講習等、車を使用する機会を減らしている。

現場○ 前年比9%増加した。今期は遠方の現場が多く、ガソリンの使用量が大幅に増加される懸念があったが、情報共有や遠隔臨場は定着している。また全社員が燃費目標を達成している。

- ・ 軽油使用量 × +5%
  - 現場 今期は河川工事が多く、それに伴う重機や水替えポンプの使用が大幅に増えた。更に施工中に雨量100mmを越える大雨が多く、仮設のやり直し等、軽油使用量の増えた要因である。
- ・ 灯油使用量 ○ -91%
  - 本社○ 災害時の備蓄燃料としているが、今期は使用はなかった。冬場のエアコン・ストーブ併用で電気使用量を削減する
  - 現場○ 暖冬の影響で前年比77%減少であった。現場事務所にはエアコンが備え付けられてあり、その使用頻度が高かった。
- ・ コピー用紙使用量 ○ -32%
  - 全体 使用量は前年とほぼ同じだった。現場では発注者との情報共有システムが主流となり使用量が減っている。発注者との契約も国・県・市と電子化を導入し、今後も使用量の削減が期待できる。
- ・ 水使用量 ○ -1.0%
  - 本社○ 感染症対策でウェットティッシュやペーパータオルの使用が定着し、タオルの使用頻度が減り、洗濯回数が減少している
  - 小瀬戸○ 災害や山間地の工事が多く、重機や車が汚れてしまうため洗車が増えて水の使用量が増えたが計画範囲内である。
  - 現場○ 散水には川の水を利用しているが、高圧洗浄機は川の水が使えず水道水を利用しているため、今期は使用量が僅かに増加した。
- ・ 産業廃棄物排出量 ○
  - 焼却処分○ 前年比-8%を達成。マイ箸やマイバックの使用の効果が出ている。今後も本社・小瀬戸置場・現場では分別回収を徹底して行っていく。
  - 再生利用○ 建設発生土がほとんどであったが、発注者と近隣の他社施工の現場に情報提供し現場間流用を行い、ほぼ100%を達成している。
- ・ 建設副産物リサイクル率向上 ○
  - 再利用できないがれき類が有り100%とはいかなかったが、適正に分別し搬出している。
- ・ G T L 燃料の使用率 △ 観察中
  - 現在も軽油に比べてG T L 燃料の販売価格は50円/L高騰している。またG T L を使用した重機を返却する際は、余ったG T L 燃料を破棄し洗浄しないといけなく、逆に環境に悪い可能性と損益も考慮し、使用を見送っている。

### 3) 次年度の環境経営目標

昨年度同様に中期経営目標(令和5年～7年度)として、中部電力調整後排出係数(0.472kg-co2)を使用した、H27年度からR4年度までの8年間の実績を基本とします。また令和6年度の単期目標は、完成工事高を20億円とします。

## 7 環境経営計画に基づき実施した取組内容・取組結果とその評価、次年度の取組内容

(取組期間：R4.6～R5.5)

## ・温室効果ガス(二酸化炭素)排出量削減

活動内容	担当部署	具体的方法	判定	評価	次年度の取組
① エアコン温度設定(冷房28度・暖房22度)	本社・現場	温度計の設置・安パトにて確認	○	設置確認	継続
② 照明スイッチへの管理者設定	本社・現場	クールビズ・ウォームビズでの対応	○	冷感商品選択	送風ベスト活用
③ O A機器の未使用時電源OFF	本社・現場	ひもによるON・OFF、安パトにて確認	○	紐による個人照明	継続
④ 有給休暇・プレミアムサタデーの活用	本社・現場	夜間・休日は主電源を切る	○	実施確認	継続
⑤ 発注者へ環境に配慮した提案	本社・現場	総務部より推奨	○	100%実施	継続
⑥ 協力会社への教育・訓練	現場	情報共有システム・遠隔臨場	○	効率化を図る	すべての工事で
	本社	工事契約・工事保証・建退共の電子化	○	効率化を図る	すべての工事で
	現場	弁当を購入する人は給食へ切替	○	ゴミの削減大	継続

## ・社用車、重機関係

活動内容	担当部署	具体的方法	判定	評価	次年度の取組
① アイドリングストップ、エコドライブ	本社・現場	社用車へのステッカー貼り付け	○	設置確認	継続
② 給油時の燃費確認・空気圧点検	本社・現場	毎月末の事務局への申告	○	燃費集計	使用量の格差
③ 不要な荷物を積まない	本社・現場	安パトにて確認	○	実施確認	継続
④ 排ガス対応・低燃費車の導入	本社	リース契約更新時に検討	○	最新車の情報収集	継続
⑤ 省エネ(ハイブリッド)重機の選定	現場	施工計画(効率)・保有協力会社の選定	○	ICT・ハイブリッド車	継続
⑥ G T L燃料の積極的な使用	現場	各作業場での活用を検討	×	燃料価格高騰	価格継続観察中
⑦ 毎朝のアルコールチェック	本社・現場	アルコール検知器による確認・記録	○	工事日報に記録	継続

## ・総排水量削減

活動内容	担当部署	具体的方法	判定	評価	次年度の取組
① 節水の呼びかけと節水器具の導入	本社・現場	蛇口への表示、散水は川の水使用	○	表示確認	アルコール消毒
② 水質汚濁の抑止	本社・現場	環境配慮型洗剤の使用、ノッチタンクの設置	○	河川現場は常設	継続
		オイルフェンスの活用			

## ・社会貢献

活動内容	担当部署	具体的方法	判定	評価	次年度の取組
① 河川美化・流木処理	本社・現場	建設業協会員として参加	○	多数の参加	継続
② 鳥獣被害対策	現場	各自治会会長と連帯	—	対象箇所がない	地元の確認
③ 服織こども園児の避難訓練	本社	津波・洪水に対し本社3階まで避難誘導	○	年3回から4回	継続
④ インターンシップ受け入れ	現場	小・中・高校生の現場実習で環境教育	○	夏に実施	夏以外の実施
⑤ 感染しない生活様式へ変換	本社・現場	免疫力強化・常備薬・シルード付ヘルメット	○	ワクチン接種	ディスタンス確保

## ・廃棄物等排出量削減

活動内容	担当部署	具体的方法	判定	評価	次年度の取組
① マイハンカチ・タオルの携帯	本社・現場	接触感染防止	○	消毒用スプレー	継続
② 昼食時の割り箸禁止	本社・現場	「マイ箸運動」の推進	○	ゴミ削減	業者へ依頼
③ マイバック携帯、食品ロス削減	全社員(家族含む)	レジ袋の拒否(廃プラ抑制)、賞味期限の確認	○	家族への広報	継続
④ 使い捨て製品の購入抑制	本社・現場	リターナブル容器や詰め替え対応型購入	○	実施確認	継続
⑤ グリーン商品購入(環境ラベル認定)	本社・現場	カタログ類の収集・明示	○	アスクルにて対応	継続
⑥ 紙使用量の削減	本社・現場	両面印刷・印刷前のプレビュー確認	○	積算設計書等	継続
⑦ 社内資料の裏白紙使用	本社・現場	将来的に社内LANの導入	○	社内書類の区別	カラー印刷注意
⑧ ゴミの分別収集	本社・現場	推進委員、現場は安パトにて確認	○	自社専用の袋	継続
⑨ 新聞紙、段ボールのリサイクル	本社・現場	自治会の廃品回収に協力	○	月1回搬出	継続
⑩ 一般可燃物の排出量把握	本社・現場	業者回収時に重量測定	○	データ集計	継続
⑪ マニフェストによる管理	現場	電子マニフェストの導入、最終搬出先確認	○	全現場対応	協力会社教育
⑫ 資材納入業者の梱包材回収	現場	注文書に記載	○	実施確認	継続
⑬ 産廃BOXの撤廃	現場	設置する場合は、社長の許可が必要	○	実施確認	継続

※判定：○=良くできた、△=もう一歩努力、×=できなかった

## 8 自社の取組み

### 活動内容の写真

◆植生吹付材料の包装材をペレットに分解し植生促進材へと再利用◆



### 経営資源の投入

◆かまど護岸での大型ダンプ(30t)使用状況◆



工事名	令和5年度 新南市公災第1号 大原釜戸線外1.1道踏災害復旧工事
工種	仮設工
測点	現場
仮締切 積み込み・場内運搬状況	

## 9 環境改善対策

### ◆下川原掘削 ICT施工状況◆



### ◆腰越災害 ウレタン発泡施工 見学会◆



## 10 環境関連法規の遵守状況の確認及び評価の結果、並びに違反・訴訟等の有無

## 1) 環境関連法規の遵守状況

当事業所に適用される環境関連法規の遵守状況を確認した結果、違反はありません。

評価日：令和6年6月27日

確認者：環境管理責任者 望月 克俊

法令の名称	条項	規制基準値(適用内容)	備考(実施方法・状況)	遵守評価
廃棄物処理法 (県・市の条例)	第6条の2第6項	一般廃棄物の収集運搬業者への委託	市条例の収集・処理基準の遵守	○
	第12条第2項	産業廃棄物の適正保管	保管場所の表示(60cm×60cm以上)	○
	第6条の2第5. 6項	産業廃棄物の委託処理、基準の遵守	収集運搬、処分許可業者への委託契約	○
	第12条の3第2項	マニフェストの交付、保管	A票は5年間保管	○
	第12条の3第3項	マニフェストの返却	B1票は90日以内の送付	○
	第12条の3第8項	〃	B2票は90日以内、D・E票は180日以内	○
	第12条の3第7項	管理票交付等状況報告書	毎年6月30日までに静岡市へ提出	○
	第12条第9・10項	処理計画書・実施状況報告書	〃	○
	施行規則第1条2	特別管理産業廃棄物(鉛、六価クロム)	収集運搬、処分許可業者への委託契約	該当なし
	第13条	水銀使用製品(蛍光灯、電池)	破碎させず、他の物と混合しない	該当なし
第10条	中間・最終処分場の現地確認	最終搬出先確認の義務化(R6. 6. 1より)	○	
建設リサイクル法	第8条	再生資源利用促進計画(土砂500m3)	コブリスにて5年保存 計画書の掲示	○
	第9条	分別解体等の実施	契約書に添付(分別、リサイクル推進)	○
	第10条	対象工事の届出	着手7日前に工事計画を市へ提出	○
	第16条	再資源化等の実施	分別作業	○
	第18条	再資源化工事等の完了報告・保存	発注者へ完了届け提出・保存	○
	騒音規制法 (県生活環境保全条例)	第14条	特定建設作業の届出 杭打、杭拔機(圧入・オーガー除く) さく岩機(最大移動距離50m以内) バックホウ(定格出力80kw以上) ブルドーザー(定格出力40kw)	工事着手7日前に提出 85デシベル以下 使用機械の選定 施工中の測定 〃
振動規正法 (県生活環境保全条例)	第14条	特定建設作業の届出 杭打、杭拔機(もんけん・油圧式除く) 舗装版破碎機(最大移動距離50m以内) ブレイカー(最大移動距離50m以内)	工事着手7日前に提出 75デシベル以下 使用機械の選定 施工中の測定	該当なし ○ ○ ○
	共通(境界)	1号区域：学校・病院・養護施設80m以内 作業禁止時間19：00～7：00 2号区域：1号区域以外 作業禁止時間22：00～6：00		
浄化槽法	第10条	浄化槽の保守点検・清掃・の実施	市清掃公社委託業者による実施	○
	第11条	浄化槽の水質検査の実施	清掃・水質検査(年1回)・点検(4回) 浄化槽維持管理カード3年間保存	○ ○
	〃	静岡県生活科学検査センターの法定検査	年1回定期検査(1月)	○
フロン排出抑制法	第16条	第一種特定機器 業務用空調機(7. 5kw以上)	自社のよる簡易点検(3ヶ月/回) 有資格者点検(年1回)・記録保存(3年)	○ ○
省エネ法	第4条	使用量1500L/年以上は届出	原油換算地での把握	該当なし
環境基本法 地球温暖化対策推進法	第8条	努力義務	E A21の取組み	○
	第5条	〃	〃	○
循環型社会形成推進基本法	第11条	廃棄物の3R及び適正処理の推進 レジ袋の有料化	廃棄物の分別(捨てればすべてゴミ) 各自マイバックの保有	○ ○
リサイクル法	第4条	特定再資源化製品の適正廃棄	パソコン・小型二次電池等の廃棄	○
グリーン購入法	第5条	事業者の責務(推進)	事務用品等の購入時の選択(アスクール)	○

## 2) 違反、訴訟等の有無

関係機関からの指摘、利害関係者からの訴状は過去3年間ありませんでした。

河川工事においては、毎年地元漁業協同組合と協定締結。稚鮎放流等、組合活動にも参加。

# 11 代表者による全体の評価と見直し・指示

## 1) 見直し関連情報

作成：令和6年6月28日

項目	確認	評価・コメント記載
1 エコアクション21文書	<input checked="" type="checkbox"/>	記録・文書として作成しました。
2 環境経営目標及び目標達成状況	<input checked="" type="checkbox"/>	社用車の燃費目標は全員達成しました。軽油使用量が未達成でしたが、効率化を求めた機械の大型化を推奨
3 環境経営計画及び取り組み実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	本社・小瀬戸では各項目に対する数値は安定し良好である。各現場ではその場所(内容)に合った活動を実施している。
4 環境関連法規要求一覧及び遵守状況	<input checked="" type="checkbox"/>	確認し記録に記載しました。 <b>R6年6月1日より建設発生土の最終搬出先確認の義務化</b>
5 外部コミュニケーション・対応記録	<input checked="" type="checkbox"/>	盛土条例・盛土規制法に対して、発注者も含め未だ明確でない。今後も協会(同業者)を含めて勉強・協議する必要がある。
6 問題点の是正・予防処置の実施状況	<input checked="" type="checkbox"/>	各現場の道路規制内容に対する問い合わせ等、速やかな対応を行い <b>QRコードによる規制内容表示も併用している。</b>
7 取引先、関係行政機関、業界、その他外部動向	<input checked="" type="checkbox"/>	GTL燃料・生コン・鉄筋等の価格の変動に注視する。建設発生土処理事業者の動きを注視。
8 その他	<input checked="" type="checkbox"/>	土木施工管理技士の受験資格の緩和により、若手社員には <b>2級土木の受験を推奨。</b>

## 2) 代表者による全体評価・見直し指示

今年度の環境レポート作成より、環境管理責任者の変更を指示しました。後任には自社のISO 9001の責任者でもある品質保証部長の望月克俊を任命しました。エコアクション21とISO9001は非常にリンクしている部分が多く、両方の運用責任者を兼ねる事で、新たな発見や効率化を期待します。また総務・土木部においても世代交代の時期に来ています。技術の継承を基本として、土木施工管理技士の受験資格も緩和された事で、若手社員には速やかな受験を推奨し、熟練技術者より現場施工の「業」を一つでも多く経験し、目まぐるしく進歩しているDX化にも遅れる事無く、若手の発想で効率化を求めた業務運用を望みます。

一つ懸念している事があります。それは温暖化の影響で日本の季節感が崩れ、渇水期でもゲリラ豪雨で出水する事です。土木工事は特に天候に左右される仕事であり、昔は雨で現場が休工になれば土日に出勤し遅れを取り戻すことが通常でしたが、現在では働き方改革による週休2日や今年4月から実施された時間外労働の上限規制等、過去のやり方は通用しなくなりました。現状の異常な気象変化のピンチをチャンスと捉え、発展する気象予報の入手、ICT施工や機械の大型化、人員の交替制等、各現場に適した省力化・効率化を確立し対処して行きます。

環境経営目標の達成は自社の社会的責任であり、今後も継続的な改善を行いながら、売上高の増加、利益率の向上も含め、会社・社員一丸となって取り組む考えでいます。

令和6年6月28日  
石福建設株式会社  
代表取締役 望月 克政

見直し項目	変更の有無	「有」の場合の指示事項等
1 環境経営方針	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	温暖化による日本古来の季節感が崩れている。また建設業の時間外労働の規制にも対応する。
2 環境経営目標	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	単期・中期の環境経営目標がスタートしています。目標達成と共に売上げ・利益の向上にも努める。
3 環境経営計画	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	本社での電子契約、現場では情報共有システム等のDX化、ICT施工や機械の大型化など、作業効率を上げる計画を実行する。
4 環境に関する組織(実施体制含め)	<input checked="" type="radio"/> 有・無	技術継承を基本とし、世代交代も含めた若手中心の体制に大きく改正しました。スムーズな運営を期待します。
5 その他のシステム要素	<input checked="" type="radio"/> 有・無	令和6年4月から実施された時間外労働の上限規制を契機に <b>自社も4週8休体制の検討をする必要があります。</b>
6 その他(外部への対応)	有・ <input checked="" type="radio"/> 無	円安による主要材料の価格変動に注視する必要がある。盛土条例・規制法等、土砂に対する情報を常に確認する。